

〈日本株〉

12月の展望 年末高が意識され易いが不安定な展開に注意

固有材料と来年への展望などが手掛かりに

日本株市場は11月に戻り基調を強め、日経平均株価が28,000円、TOPIXでは2,000ポイントの大台を回復した。7-9月期決算発表を消化し、半導体や資源など外需系株を中心に戻り相場が続いた。米国で利上げ幅縮小観測が広がる中、FOMCや米中間選挙、米CPIなどの注目イベントを無難に通過したことが好影響したと考えられる。

12月も米国の金融政策に対する思惑の他、海外での先行き景気後退懸念も根強い。一方、国内では良好な決算内容を示した銘柄が選別されつつある。12月は例年年末高が意識され易い時期だが、近年の日本株市場では、イベントや需給要因などから不安定な展開も多い。相場の方向性や物色が定まらず株価が上下を繰り返す(餅つき相場)傾向も想定される。

物色面では堅調な需要が見られたEV関連、資源・エネルギーや防衛の政策関連。この他、消費の二極化やインバウンド期待が意識される小売など、固有材料や来年への展望が手掛かりにされそうだ。(11/25 田部井)

11月の銘柄・業種別騰落率(10/31→11/24)

◆東証プライム騰落率ランキング ～BEST10～

コード	社名	業種	騰落率
6632	JVCケンウッド	電気機器	78.2
5480	日本冶金工業	鉄鋼	45.0
6526	リネックス	電気機器	33.6
7936	アシックス	その他製品	33.3
1518	三井物産	鉱業	29.4
5803	フジクラ	非鉄金属	27.5
5727	東邦ファーム	非鉄金属	25.7
6920	レーザーテック	電気機器	24.8
4902	コニカミタ	電気機器	23.2
8031	三井物産	卸売業	23.0

～WORST10～

コード	社名	業種	騰落率
3903	gumi	情報通信	-18.7
9519	レノバ	電気ガス	-15.4
6448	ブラザー工業	電気機器	-13.0
8698	マネックスG	証券商品	-12.9
5105	TOYOTIRE	ゴム製品	-11.2
4543	テルモ	精密機器	-10.5
7733	オリンパス	精密機器	-10.2
2427	アトリック	サービス	-10.1
4680	ラウンドワン	サービス	-9.5
7832	バンダイナムコ	その他製品	-8.4

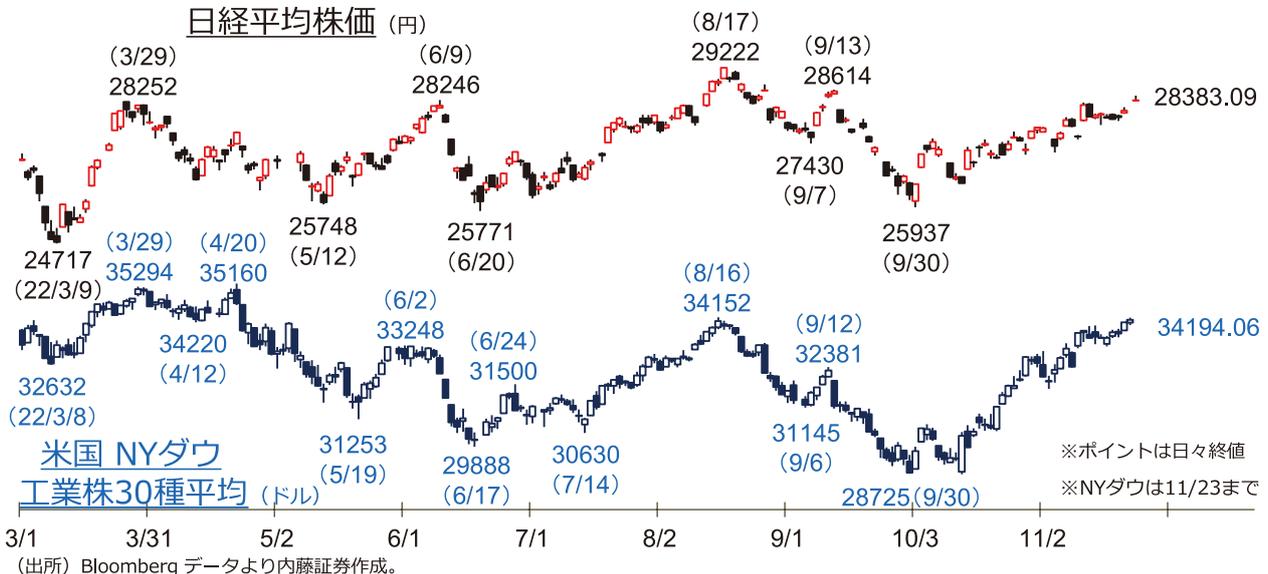
(注) 売買代金25日平均上位5分の1を対象。

(出所) Bloomberg より内藤証券作成。

◆業種別騰落率 (%)

業種	騰落率
卸売業	14.7
鉄鋼	10.8
海運	10.3
電機	9.4
銀行	8.6
非鉄	8.3
化学	7.7
機械	6.6
食料品	5.7
TOPIX	4.6
繊維	4.6
建設	4.3
ガラス石	4.1
小売業	3.1
不動産	3.0
証券商品	2.8
電力ガス	1.9
医薬品	1.8
サービス	1.5
自動車	1.3
精密	-1.0
情報通信	-1.1
陸運	-2.1

◆日経平均株価、NYダウの推移 (日足、22年3月1日～22年11月24日)



**銘柄
スクリーニング**
業績伸長見込みの12月期決算銘柄
◇通期業績計画が増収、営業増益でかつ配当利回り2.5%以上の銘柄。

(選択条件)

- ・12月期決算企業で東証プライム市場上場銘柄。
- ・22.12期業績計画において、前期比5%以上増収、5%以上営業増益の銘柄(会社計画)。
- ・予想配当利回り2.50%以上(東証プライム銘柄平均2.33%)。
- ・時価総額350億円以上、25日平均売買代金5,000万円以上の中から選択。(データは11月22日現在)

※業績・配当予想は本決算発表前に修正される場合がありますのでご注意ください

(円、百万円、%)

コード	銘柄	業種	株価 (11/22)	売上高 (予)	伸び率	営業利益 (予)	伸び率	1株当たり 配当金	予想配当 利回り
1605	INPEX	鉱業	1,526	2,302,000	85.0	1,241,000	110.1	60.0	3.9
1911	住友林	建設業	2,350	1,613,000	16.4	142,000	24.9	125.0	5.3
2124	JACR	サービス業	2,500	30,430	22.4	7,030	20.7	80.0	3.2
2429	ワールドHD	サービス業	2,940	180,000	16.4	8,400	12.3	80.0	2.7
2491	Vコマース	サービス業	2,070	37,000	10.2	8,700	10.0	56.0	2.7
2503	麒麟HD	食料品	2,213.5	1,990,000	9.2	146,000	114.4	65.0	2.9
2914	JT	食料品	2,828.5	2,668,000	14.8	649,000	30.1	188.0	6.6
3003	ヒューリック	不動産業	1,152	530,000	18.5	124,000	8.3	42.0	3.6
3405	クラレ	化学	1,077	760,000	20.8	78,000	7.9	42.0	3.9
3436	SUMCO	金属製品	2,055	439,100	30.8	108,400	110.3	78.0	3.8
3482	ロードスター	不動産業	1,732	22,697	26.7	7,342	30.7	43.5	2.5
3964	オークネット	情報・通信	1,915	40,270	9.7	6,480	10.8	48.0	2.5
4641	アルプス技	サービス業	2,141	42,500	8.2	4,550	17.4	76.0	3.5
5301	東海力	ガス・土石	1,060	305,000	17.8	35,000	42.0	30.0	2.8
5302	日カーボン	ガス・土石	4,360	35,800	13.4	4,900	32.2	200.0	4.6
5943	ノーリツ	金属製品	1,510	193,000	8.3	5,000	100.0	50.0	3.3
5959	岡部	金属製品	722	75,850	17.0	5,200	20.0	24.0	3.3
6361	荏原	機械	5,060	670,000	11.1	67,500	10.0	170.0	3.4
6498	キッツ	機械	874	157,000	15.6	10,500	16.8	31.0	3.5
6789	ロランドDG	電気機器	3,075	51,000	13.1	6,700	10.6	130.0	4.2
6817	スミダ	電気機器	1,403	136,000	29.6	7,200	35.2	36.0	2.6
6856	堀場製	電気機器	6,450	265,000	18.1	43,000	34.2	210.0	3.3
6871	日本マイクロ	電気機器	1,481	45,000	12.5	9,400	14.0	55.0	3.7
7272	ヤマハ発	輸送用機器	3,375	2,270,000	25.2	220,000	20.7	115.0	3.4
7718	スター精	機械	1,714	80,500	25.1	10,800	45.6	60.0	3.5
7740	タムロン	精密機器	3,220	64,300	11.8	10,000	35.0	115.0	3.6
7751	キヤノン	電気機器	3,227	4,090,000	16.4	385,000	36.6	120.0	3.7
7944	ローランド	その他製品	4,080	92,400	15.5	12,400	11.8	156.0	3.8
8060	キヤノンMJ	卸売業	3,210	592,000	7.2	48,000	20.9	85.0	2.6
8892	日本エスコン	不動産業	839	100,000	26.6	14,000	34.9	38.0	4.5
9260	ウィズメタク	卸売業	3,750	265,000	24.3	10,500	43.8	145.0	3.9
9621	建設技研	サービス業	3,265	82,000	10.2	7,700	10.1	100.0	3.1

※業績予想は会社予想値。

会計基準変更により業績伸び率を非開示、または決算発表後に業績を修正した企業の伸び率は、当社が前期実績をもとに参考値として算出。

(出所) 各企業決算短信・ニュースリリース、QUICKをもとに内藤証券作成

(北原)

～ポイント～

- I. 東証プライム市場の23.3期上期(4-9月)は前年同期比2%営業増益
- II. 自社株買い設定額は最大規模
- III. 23.3期上期(4-9月)に通期営業利益計画を上方修正した企業

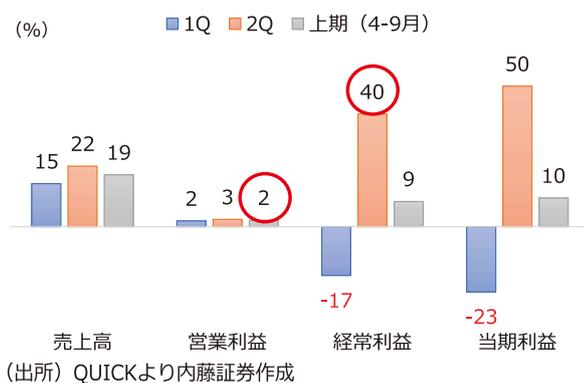
I 東証プライム市場の23.3期上期(4-9月)は前年同期比2%営業増益

23.3期2Q(7-9月)と22.12期3Q(7-9月)決算が出揃った。23.3期上期(4-9月)の前年同期比は為替の円安影響により売上高は伸びたが、営業利益は原燃料高の影響が大きく微増にとどまった。2Q(7-9月)の経常利益はSBG(9984)、日本郵船(9101)、商船三井(9104)、川崎汽船(9107)、JAL(9201)がけん引した。SBGは持株会社投資事業からの投資利益約3.5兆円の計上、海運3社は出資するコンテナ船会社の業績が伸びた(図表1)。

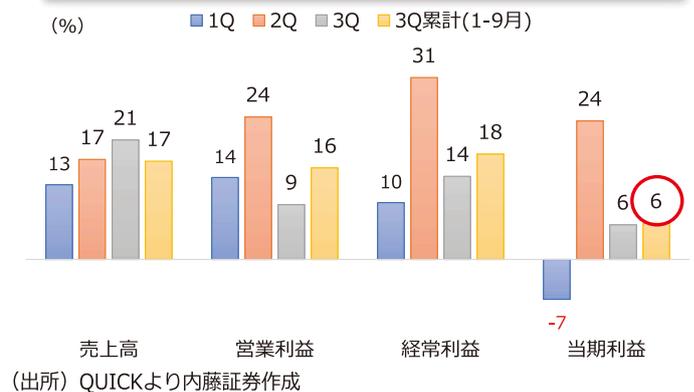
22.12期会社計画は売上高が15%増、営業利益が19%増、経常利益が同26%増、当期利益が13%増。3Q累計(1-9月)までの当期利益の伸び悩みは構造改革中のブリヂストン(5108)とモバイル事業が苦戦している楽天G(4755)の影響が大きい。

東証業種で営業利益の変化率が大きい業種は(図表3)の通り。経済再開により、空運業と陸運業が黒字転換。一方、燃料価格高騰の悪影響を受けた電気・ガス業は赤字となった。

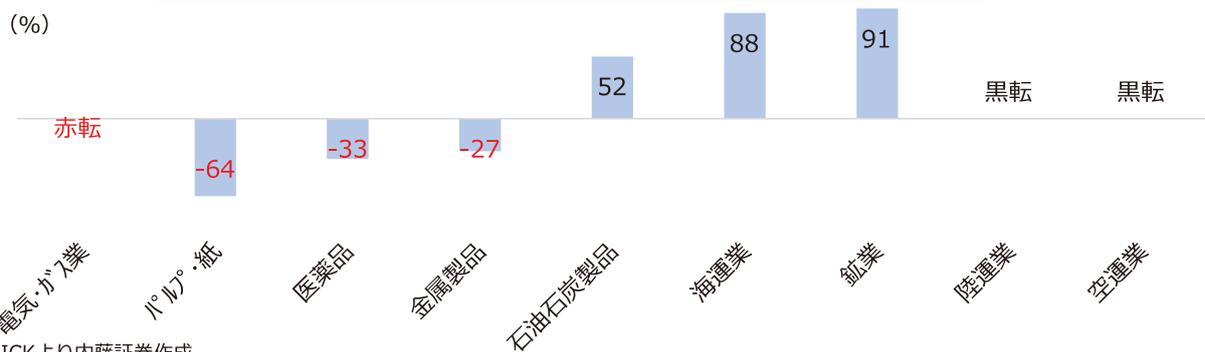
(図表1) 23.3期3月期の増減率



(図表2) 22.12月期の増減率



(図表3) 3月期上期の主な業種別営業利益増減率

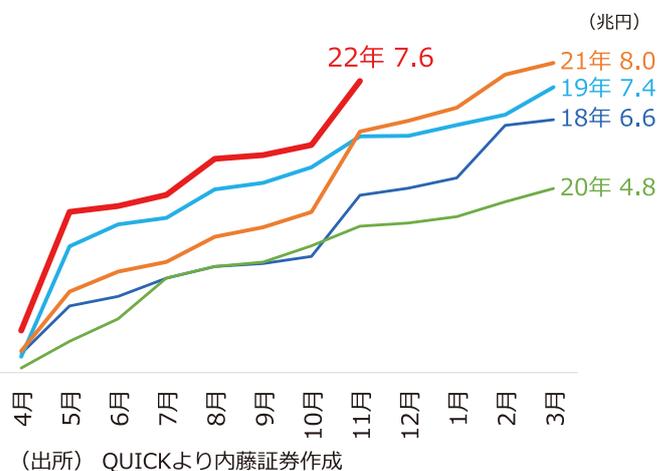


Ⅱ 自社株買い設定額は最大規模

自社株買いの設定公表は引き続き最高額を更新中であり、22年11月18日時点では7.6兆円となった。22年10月以降の発表で設定額の大きい企業は、三井住友FG(8316)、リクルート(6098)、トヨタ(7203)、三菱UFJ(8306)、NTT(9432)、三井物産(8031)と続く。

自社株買いを発表する企業で上方修正をする企業もある。直近3カ月で自社株買いと営業利益の上方修正をした主要な企業はローム(6963)、ホンダ(7267)、伊藤忠(8001)、川崎汽船(9107)などである。

(図表4) 22年度自社株買い設定額の推移



Ⅲ 23.3期上期(4-9月)に通期営業利益計画を上方修正した企業

3月期決算企業で通期会社計画を上方修正した主な企業は次の通りである(図表5)。上方修正した企業の多くは、上期で計画を上回った分を修正したと推測される。決算発表で売られる企業もあるが、その後の戻りは早く、概ね上昇基調となっている。業績の先行き不安は相対的に少ない企業といえるだろう。

(高橋、大部)

(図表5) 通期会社計画の営業利益を上方修正した3月期決算企業

コード	社名	営業利益変化率 (%)	コード	社名	営業利益変化率 (%)
1925	大和ハウス工業	3	6869	シスメックス	1
2267	ヤクルト本社	8	6963	ローム	18
4063	信越化学工業	14	7201	日産自動車	44
4502	武田薬品工業	2	7202	いすゞ自動車	15
4528	小野薬品工業	3	7267	本田技研工業	5
4568	第一三共	24	7269	スズキ	49
4661	オリエンタルランド	59	7270	SUBARU	50
4901	富士フイルムHD	4	7832	バンダイナムコHD	28
5020	ENEOSHD	65	8001	伊藤忠商事	19
6301	小松製作所	27	8015	豊田通商	23
6367	ダイキン工業	4	9101	日本郵船	8
6501	日立製作所	4	9104	商船三井	23
6645	オムロン	2	9202	ANAHD	30
6758	ソニーG	5	9434	ソフトバンク	5
6762	TDK	8	9697	カプコン	4

(出所) QUICKより内藤証券作成 (注) 変化率は会社計画の前回発表と今回発表との変化率。上方修正した企業の時価総額上位30社をコード順に並べた(22年11月21日時点)。

IPO

グロース市場の回復続く

◆直近新規公開銘柄一覧（22年11月25日現在、22年10月1日以降公開分）

(円)

公開日	コード	銘柄	公開市場	公開価格 (決定日)	初値	その後の 高値	その後の 安値	事業内容	主幹事
10/6	5129	FIXER	TG	1,340	1,822	2,222	1,310	クラウド環境上のシステム開発、クラウド設計・運用等	野村
10/7	7112	キューブ	TG	2,140	2,190	2,275	1,453	MARK&LONA等、自社ブランド衣料の企画・販売	野村
10/12	6526	ソシオネクスト	TP	3,650	3,835	7,180	3,690	SoCをコアで設計・開発、富士通・パナ系	SMBC日興、野村
10/19	5834	SBIリーディングサービス	TG	2,980	3,300	3,960	2,717	オペレーティング・リースに投資するファンド組成・販売	大和、みずほ、SBI
10/20	9562	ビジネスコーチ	TG	2,070	4,155	4,245	2,048	ビジネスコーチング・人的資本開発のプラットフォーム提供	SMBC日興
10/26	5131	リンカーズ	TG	300	503	627	416	ものづくり領域のビジネスマッチング・リーディングカンパニー	SBI
10/26	9563	Atlas Technologies	TG	1,440	2,320	2,663	1,823	フィンテック領域のコンサル、プロジェクト外実地支援	SMBC日興
10/27	9564	FCE Holdings	TS	1,560	2,060	2,179	1,430	学校・塾、企業の教育研修事業、DX推進支援	みずほ
10/28	5132	Pluszero	TG	1,650	3,805	8,640	3,705	AI開発、ITシステム開発・保守等ソリューション提供	SMBC日興
11/15	2936	ベースフード	TG	800	710	824	553	完全栄養のタブレット、パウダ、クッキーの開発・販売	三菱UFJモ
11/15	5134	POPER	TG	700	1,110	1,277	851	塾などの業務管理PF「Comiru」開発・提供	大和
11/22	4891	ティムス	TG	670	919	930	673	有効治療法のない疾患の医薬品開発・臨床試験	SMBC日興
11/25	5136	trippla	TG	800	1,620	1,805	1,548	宿泊施設のWeb予約・AIチャットボットシステム提供	大和
11/30	9565	ウェルプレート・ライベスト	TG	1,170	-	-	-	eスポーツのイベント企画・運営、販促、選手等サポート	SBI
12/1	4892	サイフューズ	TG	1,620	-	-	-	バイオ3Dプリンタで再生医療等製品の開発製造	SBI
12/13	5527	property technologies	TG	12/2	-	-	-	PF「KAITRY」通じ、中古住宅買取り・再生等	みずほ
12/14	9204	スカイマーク	TG	12/5	-	-	-	定期航空、15年上場廃止、16年民事再生終結	大和、愛UFJ、BofA
12/14	9336	大栄環境	TP	12/5	-	-	-	一般・産廃収集運搬、中間処理、再資源化等	SMBC日興
12/15	5027	AnyMind Group	TG	12/7	-	-	-	企業向けやWebクリエイター・メディア向け販促支援	みずほ
12/15	5137	スマートドライブ	TG	12/7	-	-	-	モバイルデバイスの分析解析と各種活用サービス	SMBC日興
12/16	5138	Rebase	TG	12/7	-	-	-	イベントスペース・会場予約PF「インスペース」提供	SBI
12/16	5139	オープンワーク	TG	12/8	-	-	-	転職・就職向け情報PF「Openwork」開発・運用	野村
12/16	7114	フーディソン	TG	12/8	-	-	-	飲食店向け仕入れサイト「魚村」・魚屋等運営	SMBC日興
12/19	9337	トリドリ	TG	12/9	-	-	-	インフルエンサーと企業をマッチングする販促PFサービス	大和
12/20	5240	monoAI technology	TG	12/12	-	-	-	メタバース・バーチャル空間提供、商談、イベント等に	SMBC日興
12/20	9338	INFORICH	TG	12/12	-	-	-	モバイルバッテリーシェアリング「ChargeSPOT」運営	大和
12/21	2937	サンクゼール	TG	12/13	-	-	-	久世福商店など自社ブランド等食品製造販売	SMBC日興
12/21	5242	アイズ	TG	12/13	-	-	-	広告業界向け情報集約サイト、メディア販促サイト運営	SBI
12/21	5243	note	TG	12/13	-	-	-	クリエイターがコンテンツを販売できるCtoC型PF運営	大和
12/22	9339	コーチ・エイ	TS	12/13	-	-	-	組織開発型コーチング、コーチング人材育成事業	野村
12/22	5244	jig, Jp	TG	12/14	-	-	-	ライブ配信PF「ふわっち」等の企画・開発・運営	SMBC日興
12/22	5836	エージェント・インシアランス・グループ	MM	12/14	-	-	-	保険代理店、代理店支援PF、海外保険ローカー	SBI
12/23	9341	GENOVA	TG	12/14	-	-	-	一般用医療情報サイト、クリニック自動受付精算機等	SBI
12/23	9340	アソインターナショナル	TS	12/15	-	-	-	矯正用歯科技工物・装置・機器の製造販売	SMBC日興
12/26	5075	アップコン*	MN	12/15	-	-	-	ウレタン樹脂による構造物の沈下・傾き修正工事	トラストケイ
12/26	7115	アルファパーチェス	TS	12/16	-	-	-	備品・修理部品等購買PF、施設の保守管理	SMBC日興
12/26	7116	ダイワ通信	TS	12/16	-	-	-	防犯・監視カメラ、顔認証技術ソリューション、モバイル販売	みずほ
12/27	5247	BTM	TG	12/16	-	-	-	地方人材を活用したDX推進支援等	岡三
12/27	5246	ELEMENTS	TG	12/19	-	-	-	IoT・AIで個人認証・個人にモノ・サービス最適化	みずほ
12/29	9342	スマサボ	TG	12/20	-	-	-	不動産管理業向けソリューション提供、入居者アプリ	みずほ

(注) TPは東証プライム、TSは同スタンダード、TGは同グロース、MMは名証メイン、MNは同ネクスト市場。東証プロマーケット、リートを除く。

アップコンは東証プロマーケット既上場。Pluszeroは日々公表銘柄。PFはプラットフォームの略。(出所) Bloombergデータ、各社HPより内証証券作成。(浅井)

12月の
スケジュール

中国のコロナ対策、米欧の金融政策による景気影響を注視

日付	曜日	国内		海外				
		時間	指標・イベント名称	時間	地域	指標・イベント名称	対象期	
1	木	8:50	法人企業統計	7-9月	4:00	米国	地区連銀経済報告	
					10:45	中国	財新製造業PMI	11月
					17:30	香港	小売売上高	10月
					22:30	米国	個人消費支出・個人所得	10月
2	金	8:50	マネタリーベース	11月	0:00	米国	ISM製造業景気指数	11月
					22:30	米国	雇用統計	11月
5	月				10:45	中国	財新サービス業PMI	11月
6	火				0:00	米国	ISM非製造業景気指数	11月
					22:30	米国	貿易収支	10月
7	水	14:00	景気動向指数	10月	19:00	ユーロ圏	GDP (確報)	7-9月
						中国	貿易収支	11月
8	木	8:50	経常収支	10月				
		8:50	GDP (二次速報)	7-9月				
		14:00	景気ウォッチャー調査	11月				
9	金				10:30	中国	消費者物価指数・生産者物価指数	11月
					22:30	米国	生産者物価指数 (PPI)	11月
12	月	8:50	企業物価指数	11月				
		8:50	法人企業景気予測調査	10-12月				
		15:00	工作機械受注 (速報値)	11月				
13	火				22:30	米国	消費者物価指数 (CPI)	11月
14	水	8:50	機械受注統計	10月				
		8:50	日銀短観	12月				
15	木	8:50	貿易収支 (速報値)	11月	4:00	米国	FOMC結果発表	
					11:00	中国	固定資産投資	1-11月
					11:00	中国	小売売上高	11月
					11:00	中国	工業生産	11月
					22:15	ユーロ圏	ECB政策理事会結果発表	
					22:30	米国	小売売上高	11月
					23:15	米国	鉱工業生産指数	11月
16	金				0:00	米国	企業在庫・売上高	10月
19	月		日銀金融政策決定会合 (~20日)					
20	火		日銀総裁定例記者会見		10:15	中国	LPR (貸出市場報告金利)	11月
					22:30	米国	住宅着工件数	
21	水							
22	木				0:00	米国	中古住宅販売件数	11月
					22:30	米国	GDP (確報)	7-9月
23	金	8:30	全国消費者物価指数 (CPI)	11月	22:30	米国	個人消費支出・個人所得	11月
		8:50	日銀金融政策決定会合議事要旨 (10月27-28日分)		22:30	米国	耐久財受注	11月
24	土				0:00	米国	新築住宅販売件数	11月
26	月					米国・香港など	クリスマス振替休日	
27	火	8:30	完全失業率・有効求人倍率	11月		香港	クリスマス関連休日	
28	水	8:50	鉱工業生産指数 (速報値)	11月				
		8:50	日銀金融政策決定会合主な意見 (12月19-20日分)					
29	木							
30	金		大納会			フィリピン	リサル記念日	
31	土				10:30	中国	国家統計局製造業・非製造業PMI	12月

(注) 赤字は注目指標、緑字は中国関連指標、青字は休場、時間は日本時間。